

## 「ヘラクレスオオカブト(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今日3年2・3組は、今学期の最後の理科の授業だった。いろいろ科学の質問をしたい子どもが多い中、かなり大きな飼育ケースを教室に持ち込んだ男児がいた。一体何が入っているのだろうか？



私は恐る恐る中をのぞいてみた。私はもともと虫があまり得意ではないので、ちょっと怖かったのである。何か巨大な虫がいる。こ、これは、もしや？！

「ヘラクレスだよ。ヘラクレスオオカブト」

「ええ—————！！」

飼育ケースの蓋には、幼虫やサナギ時代の写真が貼ってある。この男児は、幼虫の頃にもらったものを、今まで大切に飼育してきたのだ。



「開けて見せてくれる？」「うん、いいよ」男児は宅急便の段ボールでも開けるように、慣れた手つきで飼育ケースの蓋を除けてくれた。



「ヘラクレスオオカブト♂」 *Dynastes hercules*

大きい！それもそのはず、ヘラクレスオオカブトは、世界最大のカブトムシなのだ。私は博物館で標本を見たことはあるが、生きている個体を初めて目にした。大きさを測ったら、お尻から角の先まで約16cmもあった。(世界最大は約18cm) 図鑑に載っているヘラクレスは、前翅(甲虫独特の硬い殻のような翅)は、黄褐色のものが多い。しかし湿度が高い環境では、この個体のようにまっ黒になることが多いようだ。



「出して見せてくれる？」と頼んだら「うん、いいよ」と、事もなげに角を掴んで、止まり木からひっぺがして、飼育ケースから出してくれた。うわ！大きい！私は、おっかなビックリ、その巨大な昆虫を手のひらに載せてもらうことにした。